

横浜市旭区 ●新しいがん治療：養子免疫療法・活性化自己リンパ球移入療法

患者さんと家族の免疫力を上げる治療

# 患者さん一人ひとりに配慮し免疫力を高めるがん治療



医療法人順正会  
横浜鶴ヶ峰病院  
付属健診クリニック

院長

榎田 和義 医師

「名医たらずとも良医であれ」というのが順天堂大学病院の掲げる基本精神であるが、この言葉を信念にして、がん患者に向き合っているのが横浜市にある横浜鶴ヶ峰病院付属健診クリニックである。再生医療等の安全性の確保に関する法律に則り、①細胞培養加工施設②認定再生医療等委員会③免疫療法の再生医療等提供計画等を病院独自で対応、厚生労働省から認定を受け実施している。※がん治療における良医とはどういうものであるか、榎田院長に話を聞いた。

## 自己免疫力の回復をはかる 苦痛も副作用も少ない治療

同クリニックでのがん治療は、NK細胞療法をはじめとする免疫療法である。人の免疫はもともとがん細胞を攻撃する能力をもっているのだが、その免疫力が何らかの要因で低下するとがんになる。そこで患者自身の体から取り出したNK細胞などの免疫細胞を活性化（一千倍に増殖）させたくえで再び患者の体に戻し、免疫力を回復させるのが免疫療法である。標準的な治療（手術、抗がん剤、放射線治療など）に比べて、苦痛も副作用も少ない治療法として近年注目されている。

●PROFILE 榎田 和義(くしだ・かずよし)  
金沢大学医学部卒業。神奈川県立こども医療センター整形外科、神奈川県立がんセンター骨軟部腫瘍外科部長を経て、2009年4月横浜鶴ヶ峰病院付属健診クリニック免疫療法担当医師、2015年6月院長に就任。

そして、ここでのがん治療で非常に大切にしている。

しているのが、患者一人ひとりの事情に必ず配慮することである。  
がんは同じがんでも対応は様々  
がんという病気は、種類や進行度、患者の体質などによって治療法は大きく異なるという。またがんは、患者自身の気が病状に大きく影響する病気である。たとえば告知一つとっても、患者の受け取り方が大きく変わり、病状を左右してしまうのだが、当然ながら患者により心の持ち方や価値観が異なるので、それぞれの患者に合わせて接し方を変えていかなければならない。その他にも、経済力、仕事、そして家族関係など、患者一人ひとりには異なる背景があるので、それらを総合的に配慮して患者にとってベストな治療を考えることをモットーとしている。また、そのためには必ずしも免疫療法にこだわらず、標準治療を優先させたり、組み合わせたりすることも提案するし、結果として免疫があがればよ

いと考えている。

「免疫療法を広く普及させたいという思いがあり、一人でも多くの患者さんが来院できるように、良心的な費用に抑えられるように努めています」と榎田院長。費用によって患者の選択肢や希望が左右されるのは事実であり、そこにも患者の背景に配慮するというモットーが貫かれている。



免疫力が強化されたリンパ球の入った培養バック。点滴で体内に戻します。

医療法人順正会 横浜鶴ヶ峰病院付属健診クリニック  
<http://www.meneki-ryoho.jp>

免疫療法診察時間 ▶ 月・水・木・金・土 10:00～17:00  
(火/日/祝日は休診) 標準治療費 ▶ 初診 5千円、  
15万円/治療1回、再診3千円、税別。

所在地 ▶ 神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰2丁目82-1  
ココロット鶴ヶ峰5階  
アクセス ▶ 相鉄線鶴ヶ峰駅南口から徒歩1分。

免疫療法直通電話 045-371-0376

医療法人順正会 横浜鶴ヶ峰病院  
<http://www.tsurugaminehospital.com/>

外来受付時間 ▶ 月～金 8:00～12:00 13:00～17:00

土曜日 8:00～12:00 ※日曜日/祝日は休診

所在地 ▶ 神奈川県横浜市旭区川島町1764番地

電話 045-371-2511(代表)

※昨年に本院の免疫療法は再生医療法第26条4項により厚生労働省から認定を受けている。